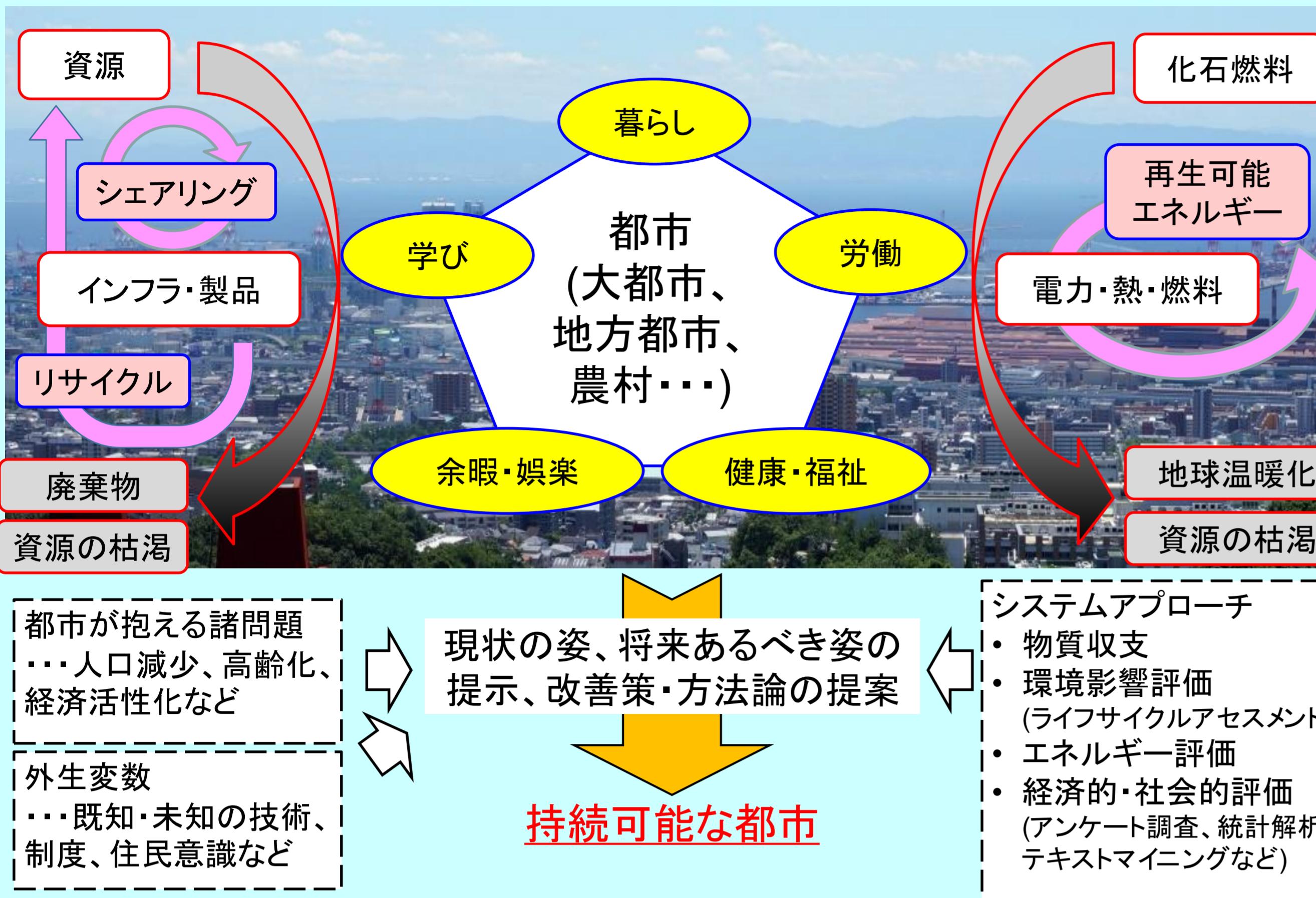


(神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境学専攻 生活環境論コース)

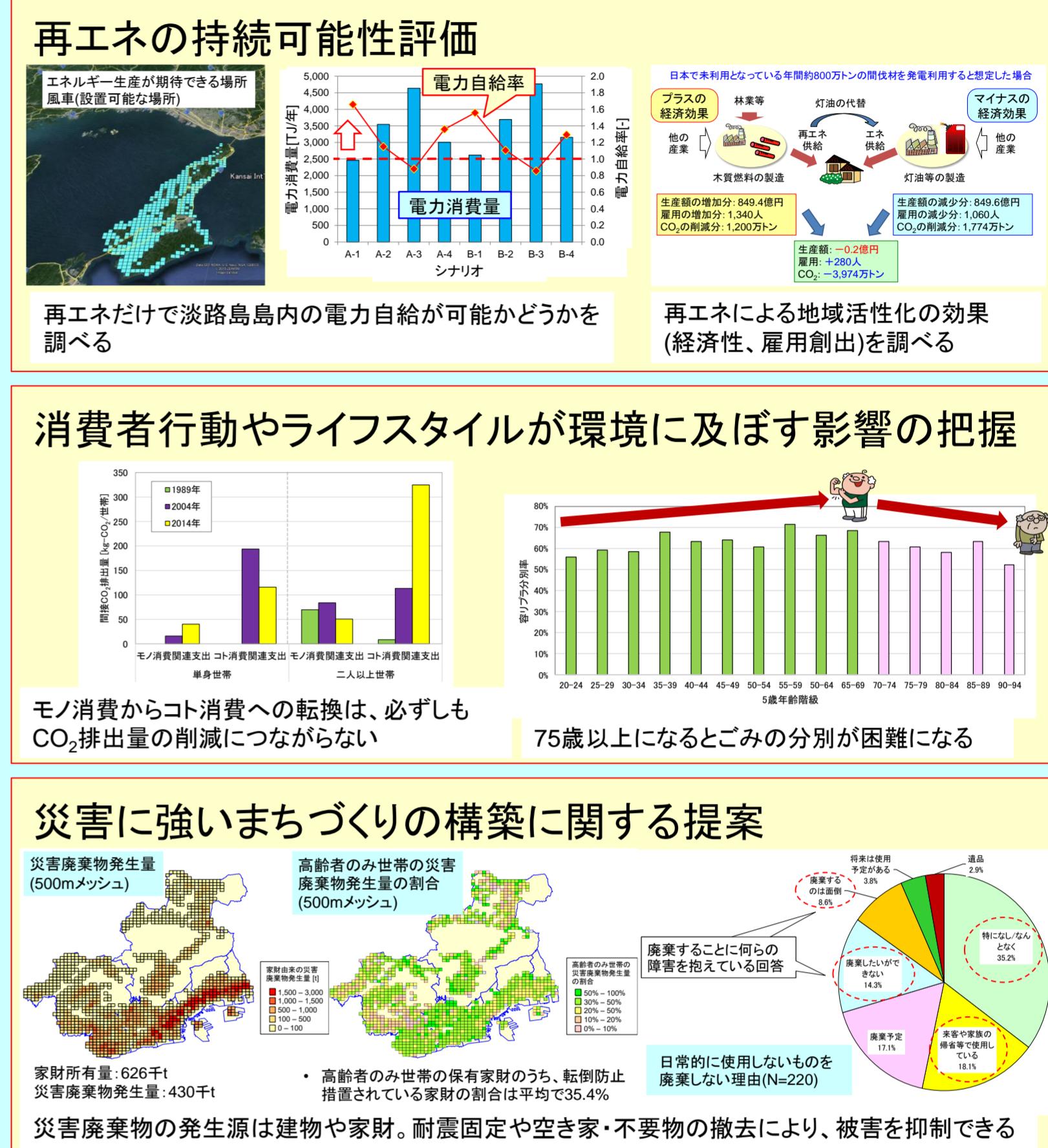
(神戸大学 国際人間科学部 環境共生学科 生活共生科学プログラム)

研究について (Think globally, act locally!)

都市は私たちの生活の基盤です。しかし、都市の維持には多くの資源やエネルギーが必要であり、これが結果として資源の枯渇や地域・地球規模での環境問題の発生に繋がっています。これらの問題解決には、地域での取り組みが欠かせません。本研究室では、都市をシステムとして捉え、特に資源・エネルギーの視点から、環境と共生していく持続可能な都市を構築することを目指した研究をしています。



ピックアップ研究



こんな研究をやっています

- ごみ・資源関係**
 - ・ プラごみのサーキュラーエコノミーを構築するため、分別収集・リサイクルのシステムをどのように構築すればよいか？
 - ・ リサイクル品の受容性を高めるためには、どのような価値創造が望ましいか？
 - ・ 高齢者の増加は、ごみ処理にどのような環境的・経済的影响を及ぼすか？
 - ・ シェアリング(音楽・映像配信など)は資源消費の抑制につながっているか？
- 【再エネ関係】**
 - ・ 技術的・経済的制約のもとで、再エネをどこまで利用可能か？
 - ・ 地域の経済性、雇用、住民満足度を向上させる再エネの使い方は？

【消費者行動・ライフスタイル関係】

- ・ 環境負荷削減のための行動は、本当に正しいといえるのか？
- ・ 昔と今の若者のライフスタイルの違いが、環境負荷にどう影響しているか？

【環境政策関係】

- ・ 環境政策の実施は、環境負荷の削減に役立ってきたか？
- ・ カーボンニュートラル政策の推進により、他の環境問題や社会問題にどのような影響が発生する可能性があるか？

【防災関係】

- ・ 災害廃棄物の処理を迅速かつ環境的・経済的に行うためにはどうしたらいいか？
- ・ 地域防災を進めるために、地域の自助・共助の能力をどのように高めればいいか？

教育・研究を通じた人材の育成

環境・資源・エネルギーを中心として、包括的な視点から持続可能な社会づくりを論じることができる人材の育成を目指します。

- ①どのような環境問題、資源・エネルギー問題を抱えているか?
【講義】地域環境資源論(2年)

技術、制度等

都市

住民

- ②技術、制度等をどのような方法で都市に導入していくべきか?
【講義】環境システム設計論(2年)

自治会、ボランティア等の任意組織

産業

- ③技術、制度等を導入するため、利害関係者をどのように巻き込んでいくべきか?
【講義】合意形成プロセス論(3年)

- ④卒業研究を通じて、研究に対する知識を深めながら、社会で役立つビジネススキルを身につける
【講義】環境形成科学調査法(3年)、卒業研究(4年)

OB・OGの主な就職先・進学先

【民間】(株)アイシン・コラボ、ヴェオリア・ジェネッツ(株)、大阪ガス(株)、シン・エナジー(株)、大和ハウス工業(株)、東洋紡(株)、(株)日鉄ケミカル&マテリアル、ハリマ化成(株)、阪和興業(株)など

【公務員】林野庁、近畿財務局、近畿経済産業局、兵庫県庁

【進学】京都大学大学院地球環境学堂・学舎、海外

OB・OG(下線)の主な研究業績

- Kawanami, F. and Tabata, T.: Model Analysis of the Impact of Increased Time at Home on Energy Consumption: A Japanese Case Study during the COVID-19 Lock Down, Journal of SDEWES, Vol.11, 1080412, 2023.
- Lien, T.-C., Tabata, T.: Regional incidence risk of heat stroke in elderly individuals considering population, household structure, and local industrial sector, Science of the Total Environment, 2022.
- Matsumoto, R. and Tabata, T.: Impact and Challenges of Reducing Petroleum Consumption for Decarbonization, Applied Sciences, , 12, article 3738, 2022.
- Zhou, J. and Tabata, T.: Economic, societal, and environmental evaluation of woody biomass heat utilization: A case study in Kobe, Japan, Renewable Energy, 188, 256-268, 2022.
- Sun, N. and Tabata, T.: Environmental impact assessment of China's waste import ban policies: An empirical analysis of waste plastics importation from Japan, Journal of Cleaner Production, Vol.329, 129606, 2021.
- 丸山愛海, 田畠智博: 若年層の消費行動が環境に与える影響の分析 :1989年・2004年・2014年を対象として、土木学会論文集G(環境), Vol.77, pp.II_217-II_226, 2021.
- 田畠智博, 周俊男, 大野朋子, 村山留美子, 井口克郎, 片桐恵子: SDGsのローカライゼーションに関する考え方の提案:六甲山の森林管理と地域活性化を事例として, 日本森林学会誌, Vol.103, pp.33-39, 2021.
- 豊成春子, 田畠智博:「環境未来都市」構想に関する取組の効果と課題に関する考察, 環境科学会誌, 2020.

連絡先



田畠 智博(たばた ともひろ)
准教授

所属: (大学院) 人間発達環境学研究科 人間環境学専攻
(学部) 国際人間科学部 環境共生学科

発達科学部 人間環境学科(兼任)

E-mail: tabata@people.kobe-u.ac.jp

TEL&FAX: 078-803-7887

研究室HP: <http://www2.kobe-u.ac.jp/~ttabata/>

